

## 関係閣僚等会議におけるALPS処理水の処分に伴う 当面の対策の取りまとめにかかるJF全漁連会長声明

本年4月、我々は、菅義偉内閣総理大臣に対し、漁業者・国民の理解を得られないALPS処理水の海洋放出には、JFグループとして断固反対であることを申し入れ、慎重な判断を強く求めたにもかかわらず、国は海洋放出の方針を決定した。

このことに対し、JFグループは直ちに断固反対であることはいささかも変わるものではないことを表明するとともに、漁業者の不安を払拭するため、5項目の申し入れを行ったところである。

このような中、本日、政府は関係閣僚等会議において、ALPS処理水の処分に伴う当面の対策を取りまとめたが、漁業者の不安払拭のための申し入れに対しては未だ具体的な回答はない。

全国の漁業者は、ALPS処理水の海洋放出に断固反対であることをあらためて表明するとともに、我々の申し入れに対し、国が明確に回答することを引き続き求めるものである。

2021年8月24日  
全国漁業協同組合連合会  
代表理事会長 岸 宏